



第4号様式 (第13条)

函館市IT・ロボット等活用生産性向上補助金等実績報告書

令和4年(2022)年4月21日

函館市長様

住所 北海道函館市西桔梗町548-3
申請者 氏名または団体名 株式会社山大
および代表者氏名 代表取締役 小林繁孝

令和3年(2021年)10月27日付け函経工をもって補助金等の交付決定を受けた下記の補助対象事業は、令和4年(2022年)3月31日に完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 補助対象事業の種類 (該当する番号を○で囲むこと。)
① 専門家派遣型IT・ロボット等設備導入支援事業
(2) IT・ロボット等活用共同研究支援事業

2 補助対象事業の名称 切り身定貫スライサー導入による生産性向上事業

3 補助金等交付決定通知額 金7,000,000円

4 補助金振込先 (申請者の口座)

銀行名	支店名	口座の種類	口座番号
口座名義	(カナ)		

5 実績書 別紙のとおり

実績書

事業の名称	切り身定貫スライサー導入による生産性向上事業
実施内容	現状、手作業による切身加工を3名で行っており、1時間あたり1,500切の切り身を生産(加工)しているが、「スーパー魚やさん」を導入する事で、現在抱えている問題、人海戦術からくる休暇などの影響による人員不足での生産性低下を改善出来る。
期待される効果	切身の機械設備を導入する事で、加工へ従事する人が2名程に削減され作業の効率化が図れる。また、高性能なカメラによる画像処理がある為、切り身の形状についても平準化される事と高齢化問題も改善可能となる。
今後の展開について	従事する人が減ることで他の時間に作業ができるようになったこと、切り身の形状について標準化されること、切り身の量の安定的な供給が見込まれることなどにより、積極的な販売促進を行うことや新商品開発に時間を割いていきたい。
研究者の協力内容 (共同研究支援事業の場合)	

- (注) 1. 実績書の内容について、詳細に記載すること。(別紙も可)
2. 導入した商品の写真および概要のわかる資料ならびにその他必要と認めた書類を添付すること。

収支決算書

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助対象事業		うち補助対象事業		うち補助対象事業	
自己資金	7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000	0	0	
函館市補助金	7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000	0	0	
合計	14,000,000	14,000,000	14,000,000	14,000,000	0	0	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助対象事業		うち補助対象事業		うち補助対象事業	
スーパー魚やさん	14,000,000	14,000,000	14,000,000	14,000,000	0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
合計	14,000,000	14,000,000	14,000,000	14,000,000	0	0	

収支差引額 0 円

(注) 1. 金額については、すべて消費税および地方消費税相当額を除いた額で記載すること。